

広島市植物公園 見どころ案内

ウメ '冬至' (バラ科)

早咲きのウメ、冬至が見ごろです。近くの八重寒紅や雪吊りとあわせてご覧ください。

展示会のご案内

- ◇展示資料館
カカオとチョコの秘密展
(1/29~2/24)
- ◇展示温室
冬の鉢花展 (1/8~2/6)
おもと(万年青)名品展
(2/9~2/15)

***大温室内で、春の特別ラン展(2/19~27)の準備をしています。**

ピトカイルニア・プルベルレンタ

(パイナップル科)

ペルー原産。長い花穂にくちばしのように尖った赤い花が咲いています。ピトカイルニアはティランジア属に次いで大きな属で約400種が存在しますが、**日本ではあまり流通していない珍しい植物群**です。

カランコエのなかま

(ベンケイソウ科)

多くの原種や園芸品種が見ごろです。花だけでなく、**ユニークな葉姿も観賞のポイント**。

アロエ、ガステリア、キルタンサス、ツルバキア、ネリネなど多数開花

カリアンドラ、オオバナソシンカ

ソランドラ・マキシマ

(ナス科)

メキシコ原産の半つる植物。**直径が20cm程度にもなる巨大な花**を咲かせます。三日花なので、**観賞できるかは運次第**。見上げた高い位置につぼみが付いています。和名は、ウコンラツパバナ。

カエンボク (ノウゼンカズラ科)

世界三大花木の一つ。**赤橙色が普通の色ですが、当園の株は黄色で珍しい**です。咲き始めでつぼみが多数ついています。

ハナモモ '雛遊び'

(バラ科)

広島市で発見された早咲きのハナモモの園芸品種。例年よりも少し早く、淡桃色の花が咲き始めました。

ハナナ (アブラナ科)

「菜の花」の名で知られる、早春を代表する植物です。進化園に群植した株が咲き始めです。

シナマンサク

(マンサク科)

中国原産。**黄色いリボン状の花びらが目を引きます(赤い品種もあり)**。花が枯れ葉と同時に樹についているのも特徴の一つです。隣ではソシンロウバイも咲いています。

アイスチューリップ (ユリ科)

特別な冬咲きチューリップではなく、人工的な温度処理により冬に咲かせたものです。**寒い時期に咲くため、長期間花を楽しむことができます。**

